

## 当病院は

### 「子宮頸部腺癌に対する同時化学放射線療法に関する調査研究」

### を行なっています

#### 【研究の意義・目的】

子宮頸癌は我が国において 1980 年頃から減少傾向が続いていましたが 1990 年代後半から再び増加しています。子宮頸癌の中でも局所進行子宮頸部腺癌は扁平上皮癌と比較して放射線治療（RT）の治療成績は不良で、抗がん剤のシスプラチンと放射線治療を同時に行う同時化学放射線療法（P-CCRT）を行っても予後を改善することは難しいと推察されています。

近年、子宮頸部腺癌に対して抗がん剤のパクリタキセルとシスプラチンを用いた CCRT（TP-CCRT）が予後向上に貢献する可能性があることが報告されました。2014 年には子宮頸部腺癌に対する標準治療（P-CCRT）と試験治療（TP-CCRT）を比較する臨床第 3 相試験が開始されましたが、症例集積が不調のため中止となっています。

そこで、この研究では子宮頸部腺癌に対する CCRT に関する調査を後方視的に行い、本邦における治療方法、治療成績と有害事象を評価し、今後の子宮頸部腺癌に対する CCRT による臨床試験デザインに必要なデータを収集することを目的としています。

#### 【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において 2000 年 1 月から 2014 年 6 月の間に、子宮頸部腺がんの診断で CCRT が初回治療として開始された患者さんを対象としています。

ご提供いただく情報は、年齢、進行期、組織型、CCRT の内容、放射線療法について、治療成績などです。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 婦人科 山下 裕幸 です。

#### 【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は 2025 年 12 月 31 日まで保存した後、適切に破棄いたします。

#### 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。  
なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 婦人科 担当者 山下 裕幸  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000（代）